



# 南行通信

令和8年3月25日  
校長 中村 由美子



～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

正門の梅の花が散ったと思ったら、桜の花が咲き始め、季節が日々進んでいるを感じます。

いよいよ今日は修了式。子どもたちそれぞれの学年の課程を修了いたしました。1年間ともに学んだ友達や担任と過ごすのも今日で終了です。この1年間で、一人一人が様々な成長を遂げました。運動会やドレミファ音楽会での一生懸命な姿、大きな行事では、練習を重ねるごとに成長する姿を見せてくれました。日々の生活の中では、友達から心無い言葉を言われつらい思いをしたり、友達に対して言いすぎてしまったことを後悔したりすることもありました。そんな姿を支えてくれるのも友達であることを知ることができました。

また、学習では、何度も練習してテストでよい点を取ったり、難しい問題にもあきらめずに向き合い解くことができたり、毎日の様々なできごとを自分の力で乗り越えてきた1年間の積み重ねが一人一人の成長につながりました。成長の速度やその姿は、一様ではありません。すぐに伸びる時期もあれば、じっと力を蓄える時期もあります。

今日渡した「あゆみ」には、担任が見取ったお子さんのがんばりや成長を記録しています。ご家庭では、ぜひ「あゆみ」をもとに、お子さんに自身のがんばりや成長を聞いてみてください。その言葉が、子どもたちの自己肯定感という根っこを太くし、次の一年で大きな花を咲かせるための何よりの肥料となります。

1年間、私たち教職員を信じ、温かく支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、今日まで本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

## いじめ調査について

本校では、年に3回子どもたちからいじめについてのアンケートを取っています。また、いじめ等の案件が生じた際には、担当者が集まり会議を行い、組織で対応するようにしています。

令和7年度は、右表のとおり、59件のいじめを認知しました。「死ね」と書かれたり、持ち物にいたずらをされたり、その内容は

様々です。いじめを認知した際には、子どもが安心して過ごせるような方策を保護者の皆様とともに考えてまいりました。その結果、39件について、いじめ行為が止み3か月以上経過している「解消」状況にあります。

しかし、依然として、不安に思いながら過ごしている子どももおり、指導や支援を継続しています。

今後とも、ご家庭で心配なことがありましたら、学校までお知らせいただきまようお願いいたします。

令和7年度末いじめ認知件数(件)	
認知件数	57
解消件数	39

## 給食当番白衣について

教育委員会が行った「学校における香害アンケート」では、様々な意見が寄せられました。意見の中から、給食当番が着用する白衣について、香りが要因で体調を崩したり不快感が生じたりすることがわかりました。つきましては、体調面や強い香り等の理由で給食白衣や帽子等の着用が難しい場合は、家庭からエプロンやバンダナを持参し、着用することも可能とします。その場合は、お子様が給食当番の際、以下のものを家庭から持参してください。

- エプロン ○バンダナのような頭髪をおおうもの ○マスク
- エプロンとバンダナ等を入れる袋 (すべてに名前を書いてください)

